

令和6年度  
12月号

# 幼稚園だより



令和 6年11月29日  
文京区立湯島幼稚園

## 思い出の幼稚園

園長 前田 宏子

やっと園庭の木々も色付き、落ち葉を集める子どもたちが増えてきました。三輪車に乗って、自分の探検バックに大切に落ち葉を入れているもも組の子どもたち。落ちてくる葉っぱに気付いて拾うことを楽しんでいるその姿は、いつか大きくなっていったときに、四季の移り変わりを感じながら過ごしていた自分を振り返ることでしょう。

先日、修了生の保護者の方が中心となり、湯島幼稚園ホームカミングデーを開催しました。中学生以上の修了生が幼稚園を訪れました。修了生とその保護者の方々が「自分たちが製作をした修了製作を見たい」「幼稚園の中をもう一度見たい」ということでたくさんの方が訪れてくれました。以前に在職していた先生方も来ていただいたので、プチ同窓会のようなになりました。修了生たちは幼稚園のときに遊んでいた積み木、いつも座っていた幼児椅子、自分の荷物を掛けていたロッカーなどをしみじみと眺め、「こんなに小さかったんだ」と何回も言っていました。「遊んでいたことは覚えている？」と聞くと「覚えてます」とはっきりと答えてくれる人が多かったです。「あんまり覚えていないなあ～」と答える人も、園内を歩いていると、「あ、これで遊んだ！」と目を輝かせてつぶやいていました。保護者の方も修了製作を眺めながら、写真をたくさん撮っていました。修了製作のなかには今も使っているものもあります。製作するときは大変だったことと思いますが、その思いは代々受け継がれ、今も湯島幼稚園のために飾られています。

自分が育ってきた場所すなわち、たくさんの思い出がある場所が目の前にあるということはその時間を過ごした人との関わりやものとの関わりを思い出すことができます。「楽しい時間だったなあ～」と振り返ることができることは幸せなことだと思います。自分は一人ではなく、たくさんの人に囲まれて育ってきたことを思い出す機会にもなります。

友達と、先生と、お家の人と、そして、地域の方との関わりの中で幼稚園生活は営まれています。それは今も昔も変わらずに続いている湯島幼稚園の生活です。この先、形が変わっていくことがあっても、幼稚園での生活の思い出は色あせることはないと思います。心の中で湯島幼稚園を思い出してほしいと思います。

2学期も本園の教育にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。

皆様、どうぞよいお年をお迎えください。